東京2025世界陸上

～大会を通じて、わたしたちが実現できること～

東京都は、こどもの笑顔があふれる社会の実現を目指しています。
この度、社会の主役である子供たちが意見を出し合う「こどもワークショップ」を実施しました。

本ワークショップを通じて子供たちから聴いた大切な意見は、今後の東京都の施策のバージョンアップにつなげていきます

1 part.1

子供達の声

01.子供からの意見

02.グラフィックレコーディング

03.参加者アンケート

子供たちの意見やアイデア ※実際の意見を基に記載しています

大会を通じたスポーツ体験について

- 全種目を体験してみたい。**競技を実際に体験しその面白さを知ってもらう**ことで興味を持つ人が増え、人気が出るきっかけになる（小５）
- やり投げや砲丸投げならやってみたい（小４）
- **国立競技場**を使って**スポーツ体験をしてみたい**（小６）
- **選手が実際に使っているものをさわりたい**（小４）
- 自分のタイムと**選手のタイムを比べられたらいい**。体の大きさも比べられるといい（小４）
- （みんなが興味をもつには、）大谷選手のグローブのように学校に寄付するとよい（小６）

意見への受け止め

- イベントで立ち幅跳びやターゲットスロー等の体験ブースを展開します。
- 大会中、会場を使用して子供向けの陸上競技体験イベントを開催します。
- 世界陸上の記録、備品、歴史等の展示・体験スペースを設置します。

- みんながスポーツに興味をもつには、**やり方やルールを知って、実際に体験**してもらうと効果的（小４）
- 競技にかかわる**きっかけがあるともっと興味をもつことができる**（小５）
- **選手が学校に教えに来てくれたらいい**と思う（小４）
- 学校の行事として競技体験を実施してほしい（小４）
- **選手**と走ることができたら、きっと走るのが楽しくなる（小５）
- **有名人**やアイドルグループに体験・発信してもらうと、みんなが競技を**体験**したくなると思う（小５）

意見への受け止め

- 陸上競技の解説や上達するトレーニングを紹介する冊子を配布します。
- 陸上競技の指導者等を学校に派遣し、走り方講座を実施します。
- 都内のスポーツ施設で子供向けスポーツ体験教室等を行います。
- 織田裕二さん、北口榛花選手、サニブラウン選手などをアンバサダーに起用し、テレビ番組と連携するなどキャンペーンを展開します。

子供たちの意見やアイデア

選手へ応援の気持ちを伝える取組について

- 応援の**手紙**を選手に**届けたい**（小5）
- **海外の選手に**その国の言葉で**気持ちを伝えられる**とよい（小5）
- メッセージを書いた紙吹雪を使うと、選手に喜んでもらえると思う（小5）
- 選手全員にメダルをプレゼントしたい。折り紙で作るのでもいいので、**応援している気持ちを伝えたい**（小5）
- **SNSを使うと、選手に応援が届けやすい**と思う（小5）

意見への受け止め

- 応援メッセージを集め、各国選手が目にする場所に掲示するほか、大会の演出に使用します。
- アスリートと連携したキャンペーンなど、公式SNSで「世界陸上」応援キャンペーンを行います。

- （歓迎の気持ちを伝えるのに）**日本ならではのもの**を使えるとよい（小4）
- 多くの子供たちが国立競技場で応援できるようにするとよい（小5）
- （海外からも応援に来てもらえるように）チケットと観光ツアーをセットにするのがいい（小5）

意見への受け止め

- 歓迎・応援の気持ちを伝える日本・東京ならではのおもてなしとして、生け花展示等、日本の文化について鑑賞・体験できる機会を設けます。
- 大勢の観客に応援してもらうため、パッケージツアーの販売など、“フルスタジアム”に向けたチケット販売を促進します。
- 都内に在住・在学の18歳以下の子供等を観戦に招待します。

子供たちの意見やアイデア

大会の運営に参加する取組について

- 大会にかかわる式典など、**大会運営に参加してみたい**（中1）
- **選手を直接サポートできる活動がしたい**（中2）
- **競技運営**（スターター・審判など）や**放送関係**（アナウンサー・カメラマンなど）に携わってみたい（中1・中2・中3）
- **いろんな選手と話ができる仕事がしてみたい**（中3）
- 子供の視点で選手にインタビューができるとよいと思う（中2）
- （東京2020大会の時は）自分で**新聞**を書いた。書いた新聞を選手に見てもらえたら嬉しい（小4）
- ユニフォーム等の素材や**デザイン**を考えてみたい（中2）
- 大会マスコットは**スタイリッシュなものにしてほしい**（小5）

意見への受け止め

- 選手等のエスコートなど、大会運営に子供たちが直接参加して、選手・関係者をサポートする機会を作ります。
- 大会中、世界陸上の仕事や資機材など、普段は見られない大会の裏側を見学できる機会を作ります。

意見への受け止め

- 子供たちが記者として、選手、関係者、イベントの取材を行い、取材内容を発信する「こども記者プログラム（仮称）」を実施します。
- 大会のマスコット制作に子供たちの意見を反映し、ネーミング投票を実施しました。

子供たちの意見やアイデア

環境にやさしい大会の実現について

- **選手の移動に電気や水素を、**会場等では**ソーラーパネルを活用できるといい**（中1）
- 関係者の移動を公共交通機関にすると、排気ガス削減につながると思う（中2）
- （暑さ対策として）**ミスト**を使うと、来ている人が涼しくなる（中3）
- **マイボトル**を持ってきて、**プラスチック削減**（中3）
- 競技後に**ゴミを拾う観客の姿が**話題になって、世界に広がるといい（中2）
- 環境対策について、**世界陸上が良いアピールの場になると良い**（中3）

意見への受け止め

- ZEV※1やバイオ燃料、次世代型ソーラーセル※2など、再生可能エネルギーを活用します。
- 公共交通機関の活用により関係者輸送の省エネルギー・CO2削減を推進します。
- 来場者用のミストファンや飲料配布等、効果的な暑さ対策を実施します。
- マイボトルの推奨やペットボトルの水平リサイクル、ゴミ拾いイベントなどを実施します。
- SAF※3の原料となる廃食用油の回収など、大会を通じて環境配慮の取組をPRします。

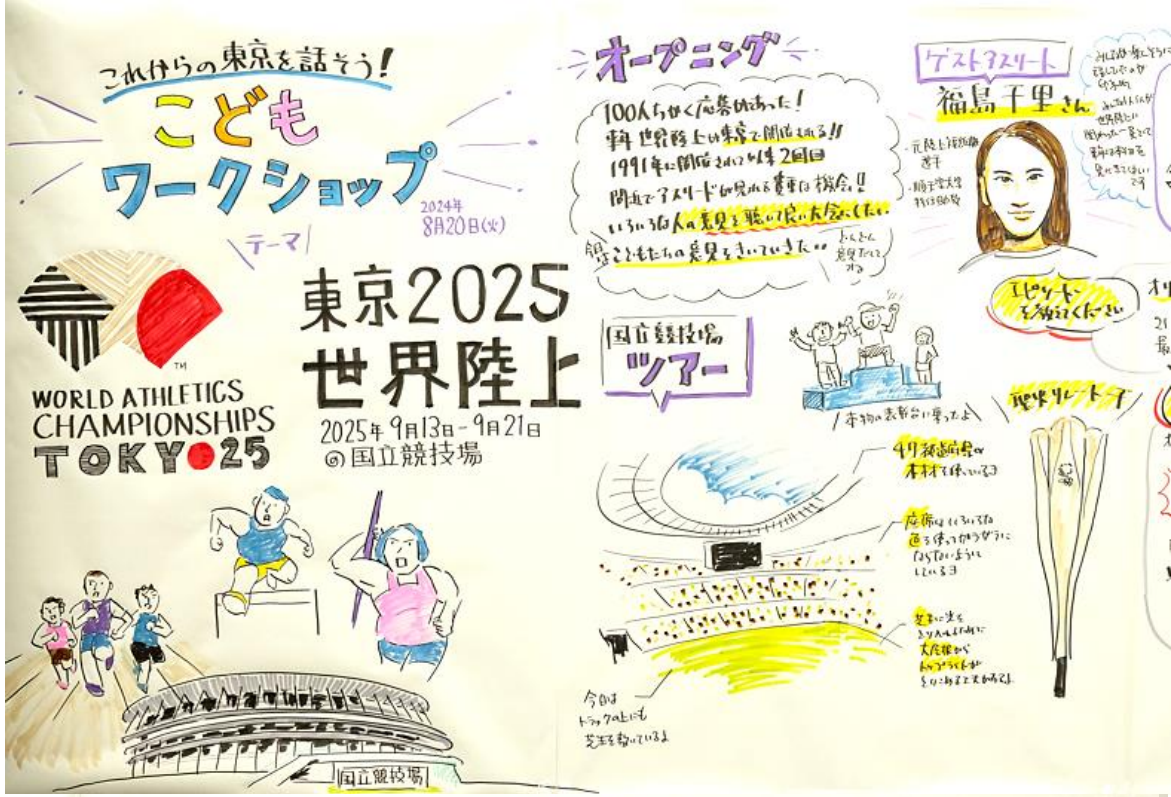
※1　ZEV（ゼロエミッション・ビークル）：走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない車

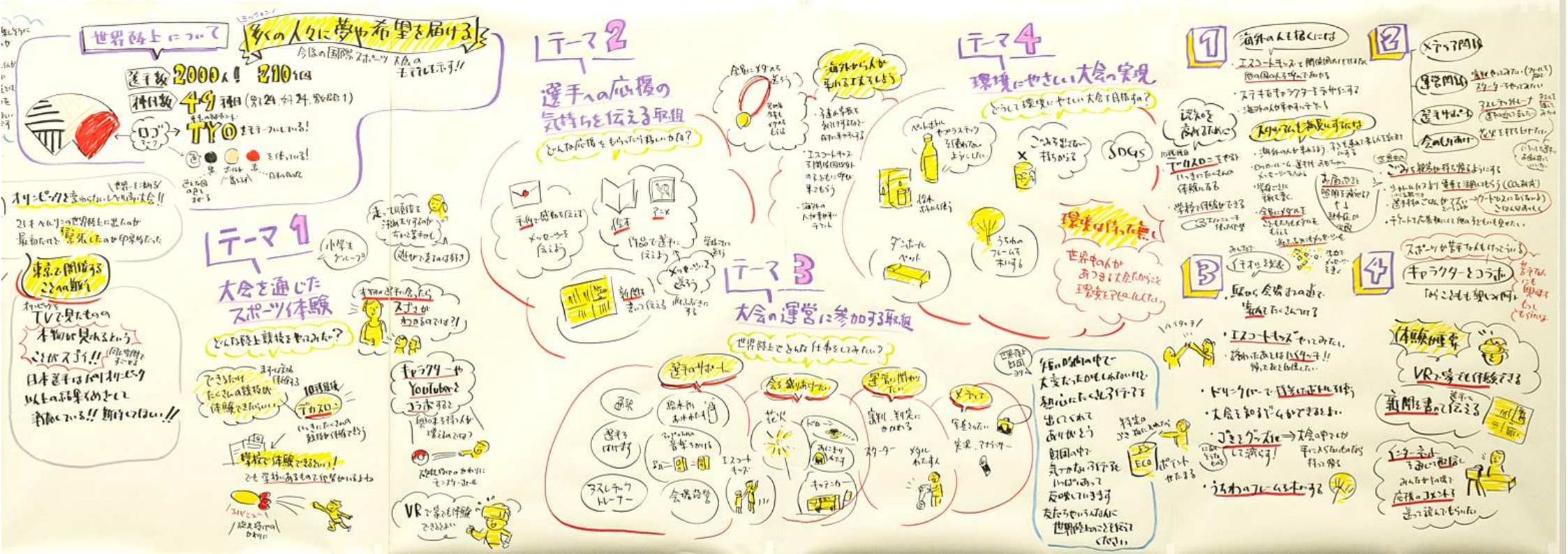
※2　次世代型ソーラーセル：「薄く軽くフレキシブル」な、日本生まれの太陽電池

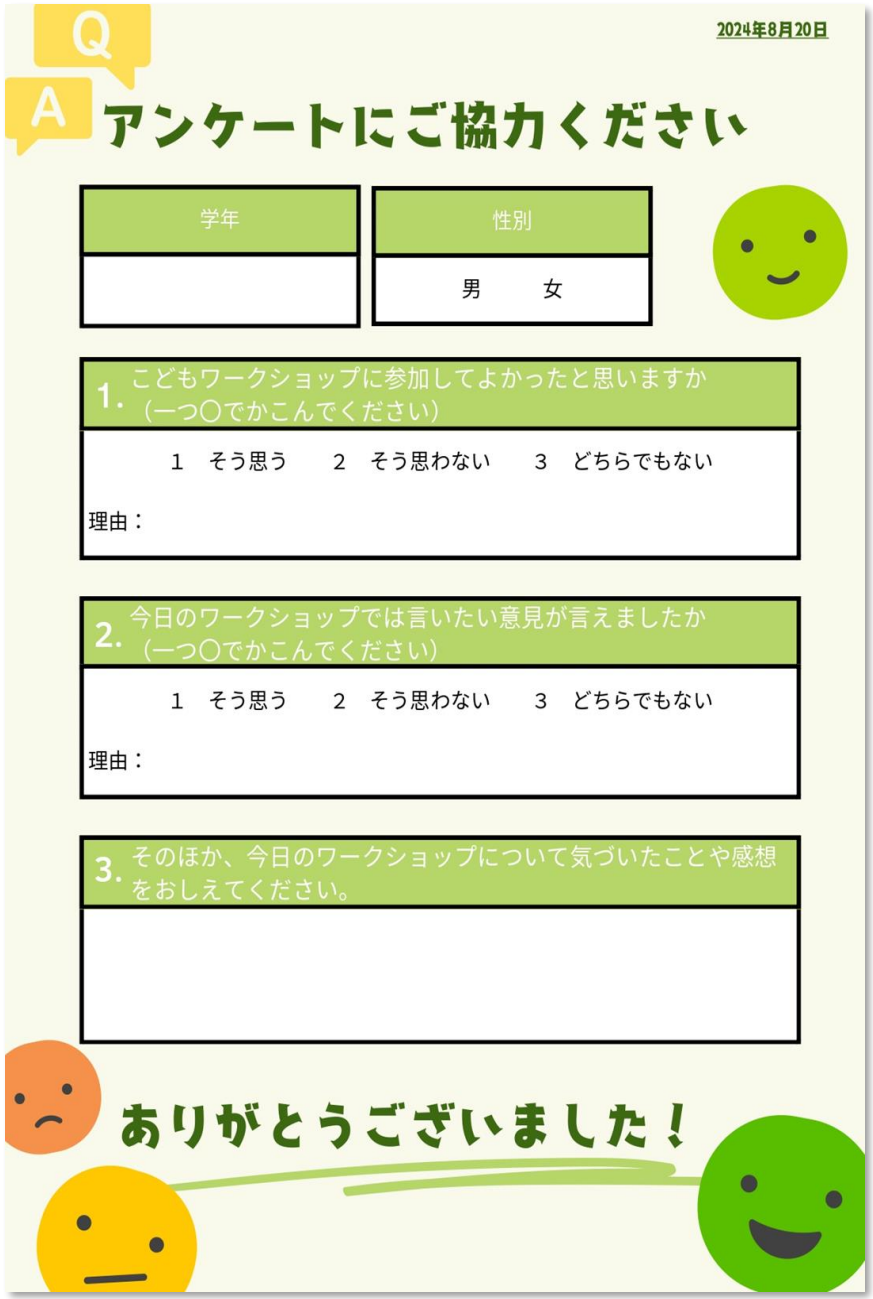
※3　SAF（Sustainable Aviation Fuel）：「持続可能な航空燃料」のこと。廃食用油などを原料とし、従来の化石燃料に比べてCO2削減効果が期待される

グラフィックレコーディング

会議やプレゼンの内容を　絵や図形でまとめる
手法を用い、子どもたちの声をリアルタイムで
視覚化







1　こどもワークショップに参加してよかったと思いますか

18名中18名
そう思う

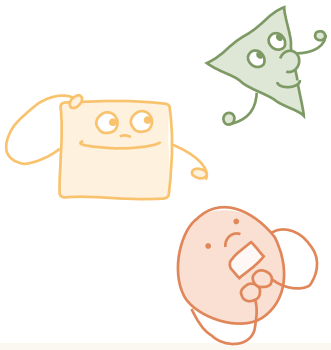
2　今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか

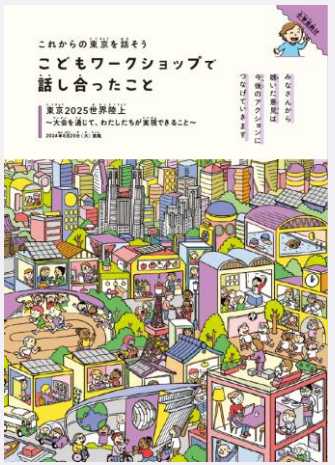
18名中18名
そう思う

3　今日のワークショップで気づいたことや感想をおしえてください

「こんなに自由に話し合えたのは初めてだと思ったし、**とても話しやすくて楽しかった**です」（小4）

「今回のイベントのおかげで**国立競技場や、世界陸上の事を身近に**感じられました。」（小6）





参加者にフィードバックするための冊子も作成

2

part.2

運営方法

01.開催概要

02.タイムスケジュール

03.子供の意見を聴く工夫

04.当日の様子

テーマ	東京2025世界陸上 ～大会を通じて、わたしたちが実現できること～
テーマ説明	2025年に東京で開催される世界陸上競技選手権大会にたくさんの子供たちに参画してもらうための取組を検討している。大会でやってみたいこと、大会を通じて自分たちができること、大会をよりよくするアイデアなどについて子供たちから意見を聴き、取組について検討していく。
担当局	生活文化スポーツ局
開催日時	2024年8月20日　13時から16時まで
開催場所	国立競技場内会議室
参加人数	18名 ▶ 小学生（4～6年）9名（B班：4名、D班：5名）中学生9名（A班：5名、C班、4名）
意見を聴く内容	小学生　大会を通じたスポーツ体験・選手へ応援の気持ちを伝える取組 中学生　大会の運営に参加する取組・環境にやさしい大会の実現

ゲストアスリートにも参加いただきました

福島 千里

元陸上短距離選手 / 順天堂大学スポーツ健康科学部特任助教

女子 100m、200mの日本記録保持者。

現役時代は、オリンピック 3 大会、世界陸上 4 大会の出場経験がある。

現在は、自らを育ててくれた陸上競技に恩返しをするため、

後進の育成や陸上競技の啓蒙活動など陸上界の盛り上げに尽力している。

13:00 挨　拶

メインファシリテーター・東京都関係者挨拶
ゲストアスリートの紹介

13:10 スタジアムツアー

国立競技場内の見学

5分休憩

13:45 オープニング

ツアーの感想
ワークショップのテーマのついて説明

14:00 テーブル内対話

アイスブレイク
簡単な自己紹介、世界陸上について対話

14:00 ワークショップ　前半

小学生　→大会を通じたスポーツ体験
中学生　→大会の運営に参加する取組

10分休憩

14:45 ワークショップ　後半

小学生　→選手へ応援の気持ちを伝える取組
中学生　→環境にやさしい大会の実現

15:15 全体共有

各テーブルの意見を発表

15:40 クロージング

関係者からの感想　事務連絡

15:50 撮　影

集合写真の撮影

Point 01

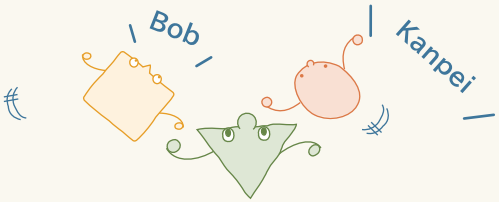
子供が会場に到着した時点から、ファシリテーターやスタッフが積極的に声掛けを行う

Point 02

子供が緊張しないよう、大人はなるべくカジュアルな服装をする

Point 03

大人を含めて呼ばれたい名前、ニックネームで呼び合う



Point 04

3つの約束事を伝える

① 誰がなにを話したかは、誰にも分からないようにする
② すべて大切な意見だから、どんなことでも話してよい
③ みんなの声は、必ず東京都の人たちに届ける

Point 05

終了時、テーブルファシリテーターに伝えれば、発言の撤回ができることを伝える

メイン ファシリテーター

全体のファシリテーションを担う。ワークショップの司会進行を務めつつ、適宜各グループを周り、参加者の発言を促す。
会場内で1名配置。

グループ ファシリテーター

グループ内のファシリテーションを担う。グループごとに、参加者全員の発言を促しながら、多様な意見を理解・整理していく。
グループごとに1名配置。

グラフィック レコーダー

ワークショップ内での議論を図や絵を多用しながら整理し、視覚的に内容を振り返られるよう記録する。
会場内で1名配置。

登場人物

ワークショップの実施に関わった大人達の紹介

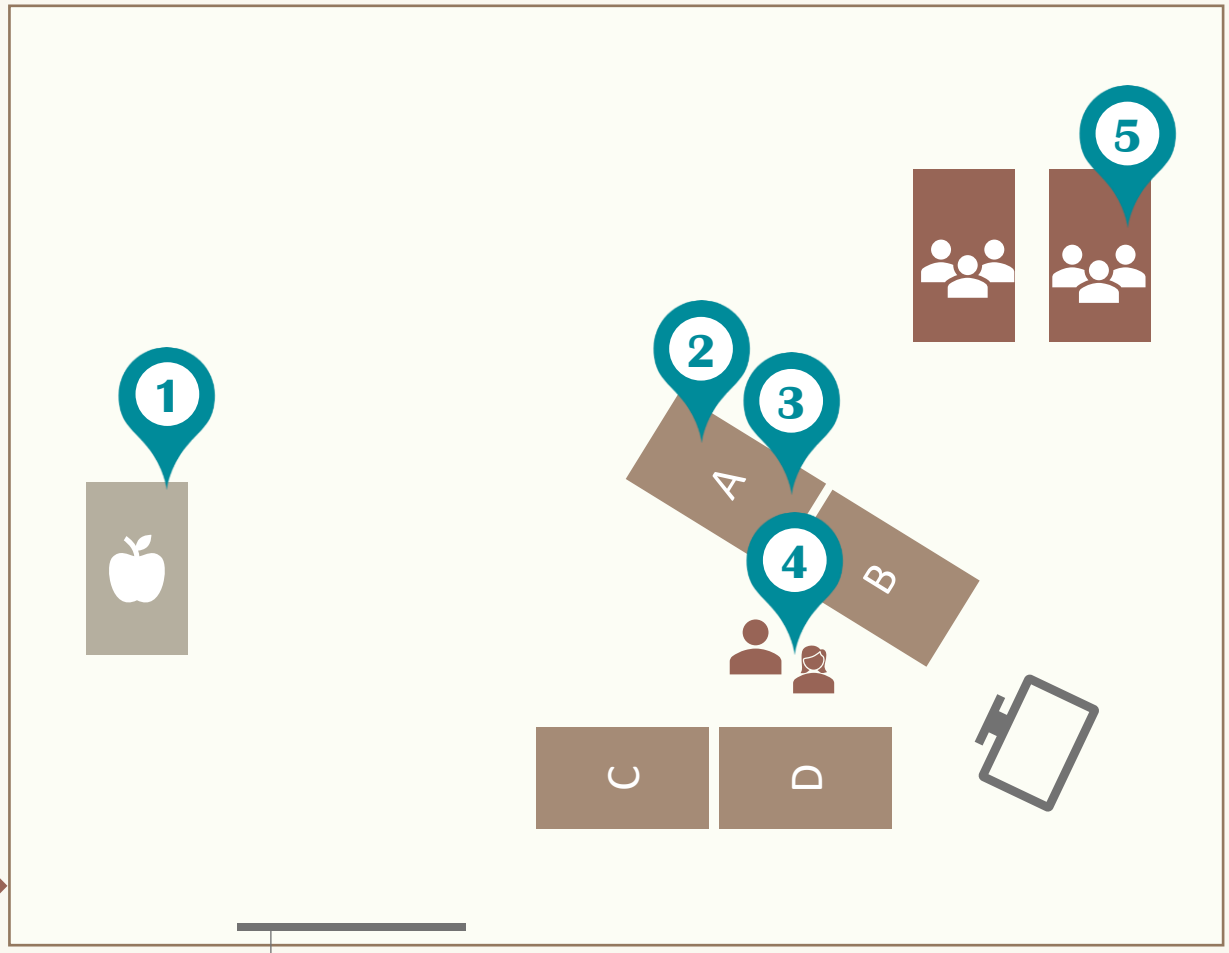
進行補助者

グループ内での、議論のサポートを担う。子供が意見を言いやすくなる雰囲気づくりや、意見の記録などを行う。
グループごとに1名配置。

そのほかにも…

- ✓ワークショップのテーマについて説明する説明者
- ✓参加者や取材メディアの受付係
- ✓参加者を会場まで案内する誘導係
- ✓世界陸上の事等、子供達からの質問に答えるゲストアスリート　等

様々な関係者が本ワークショップの実施に関わりました



Topic!

グラフィックレコーディング

会議やプレゼンの内容を絵や図形でまとめる手法。議論の大事な点や結論をみえる化し、議論のふり返りに役立てる

1. ヒアリング中に飲食できるお菓子や飲み物を用意し、自由に話ができる雰囲気をつくる

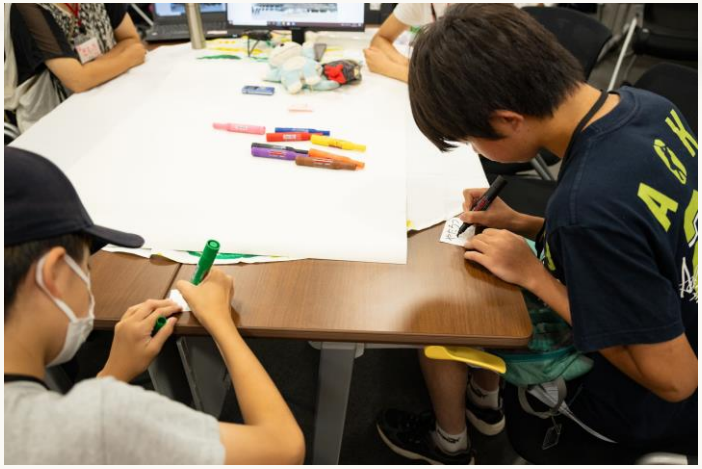
2. 子供が意見を言いやすいよう少人数（3～5名）＋大人2名（ファシリテーター、補助者）で班を構成

3. 各テーブルにファシリテーターと補助者を配置し、安心して意見表明できるようサポート

4. メインファシリテーターやゲストアスリートがテーブル間を周り、子供たちの質問に答える

5. 大人（関係者）の人数は最小限。ワークショップ中は子供からなるべく見えないように配慮

04.当日の様子



04.当日の様子

TOKYO FORWARD 2025
TOKYO FORWARD 2025
こども
ワークショップ
オープニング
東京2025